



田中 翼郎
(よねしろ会)

雇用の確保

質 雇用の確保は待ったなしと思う。このため緊急対策をどのように考えているのか。また、誘致企業、既存企業の雇用拡大について、これからの見通しはどうか。

答 雇用安定助成金の支給を1年間延長することとしている。企業誘致促進を図るため職員1名を22年10月から県へ、その後2年間秋田県東京事務所へ派遣する予定。進出企業やその本社への訪問などにより雇用確保の働きかけを行っている。聞き取りでは、8割近い企業が現在の雇用を維持したいとしている。

林業の活性化

質 作業道の建設によって、林業の操業コストの低減を図り、市有林、分収林を対象として、モデル事業を計画しながら雇用の創出ができないか。

答 県は本年度から田辺林道を参考に低コスト作業道の開設試験が始められ、市の作業道でもその技術が一部採用されているが、雪国に適した技術の確立には時間がかかる。市は森林整備の推進、路網整備など林業活性化の事業を行っている。今後森林・林業再生プランに取り組み、関係機関と連携し雇用創出の事業を積極的に推進したい。

その他の質問事項

- ・ 過疎化、限界集落の対策



安岡 明雄
(市民の声)

高齢者へのサポート体制を図ること

質 高齢者の生活不安についての声が寄せられている。その対応策として、手助けを受けたい人と、行いたい人との相互支援などのサポート体制をつくり、支援してほしい。

答 市としては地域包括支援センターを中心とした地域ケア体制の整備を進めたい。また22年度から災害時要援護者避難支援プラン個別計画策定等の新事業を予定し、水道事業者等民間業者との協定についても検討していきたいと考えており、そうした取り組みの中で、橋渡しができるネットワークづくりを目指したい。

住吉町住宅建てかえ期間の対応

質 住吉町住宅建てかえにより、入居者の仮住まい転居が始まる。それによって入居者が点在し、コミュニティが取れるのか、と心配される。その対応をどう図っていくのか。

答 これまで入居者の不安解消のため、費用面や仮住居のあっせん等について話し合いをしてきた。今後も入居者の意見等を聞き、内容によっては関係部署と連絡をとりながら移転先に職員が訪問し相談を受けたり、移転先の地域の民生委員に見守り協力をお願いするなどをし、少しでも不安が和らぐように努めていきたい。

その他の質問事項

- ・ 地域主権のもととなるマニフェスト(数値目標)
- ・ 実施期限・評価など)
- ・ ふるさと教育の成果指標



信太 和子
(大河・生々・みどりの会連合)

戸別所得補償制度

質 転作による米粉・飼料用米などの新規需要米は10アール当たり助成金が8万円と単価が高いので取り組む農家が多いのではないかと。流通ルートの開発にどのような戦略を持っているか。

答 米粉用米の販売先は全農に頼っているが、22年産の米粉用米割り当てが35ヘクタール分希望する農家すべてを受け入れる体制にないようである。今後、関係団体に対しても受入先の確保について働きかけたい。飼料用米については、全農による流通システムが構築されているため、受け入れの問題はないと伺っている。

高速道路無料化

質 ニツ井から秋田市までの高速道路無料化は市の経済への影響は大である。往復3,500円の無料社会実験はあと3カ月で開始である。市は、誘客や特産品売り出しの施策はあるか。

答 高速道路無料化により、産業活動や市民生活、公共交通機関等へは、流通コストの低下等の好影響や、購買人口が他市へ流出する不安要素等さまざまな影響が予測される。無料化に備えた施策については、現在のところ具体的な対応は準備していないが、社会実験の結果を注視しながら対応していきたい。

その他の質問事項

- ・ 市長選立候補のマニフェストは
- ・ (仮称)イオン新時代ショッピングセンター
- ・ 全国学力・学習状況調査